

FREGA VINCENZO 33 YEARS OLD



FERDINANDO FREGA

ヴィンチェンツォ・フレーガ、33歳

THE FAMILY · 11

33歳で店長に任命された息子、涙にくれる母、そしてかつて父がカラブリアで撮ったゴンドラの写真。

Gillettenarrativeは、あなたを歓迎する。あなたはまだ、自分がどれほど幸運かを知らない — これから何かを受け取ろうとしているのに、その見返りに何かを求めた者は誰もいない。あなたはいま、私の世界に足を踏み入れている。刃に触れられるほど近くまで。だが、私は刃を売らない。それは私の母だけのものだ。これが終わるとき、あなたはもう同じではいられない。すでに次のひとつを探しているだろう。ひとまず、ここから始めてほしい。あなたのひとときを、ゆっくりと。

エリザベッタ、私の最後の妻 — いや、正確には、2026年10月9日の今日の時点で私の唯一の妻 — が、しゃくりあげながら私の部屋に入ってきて、嗚咽の合間にやっとうこう言った。

「感動しちゃって」

それから泣きだした。

何か悪いことが起きたのではないかと心配になった。私の未完のプロジェクトのひとつを見つけてしまったのかもしれない。あるいは誰かが玄関のベルを鳴らし、苗字はフレーガだと名乗って、父親に会わせてほしいと言ったのか。

幸い、そのどちらでもなかった。

あははは。

息子のヴィンチェンツォから電話があったのだ。33歳という若さで、有名なドイツの小売チェーンが北イタリアに持つ最大級のハイパーマーケットのひとつで、店長に任命されたという。

そしてそれは、彼がどういう人間なのかを雄弁に語っていた。

名前からして、隠しようがなかった。

祖父とまったく同じだ。イタリアで最初のGILLETTEの男。

誰もその存在を予想しない人間。

どうやってそれをやってのけたのか知りたくなって、私は彼の母親から聞ける細かい話を掘り返した。

彼女の話では、彼はまったく自分の発案で一連の企画を練り上げ、その表紙を、ゴンドラ・レイアウトの写真まで添えて、イタリアの営業経営陣に提示したのだという。

彼は部屋にいた全員を — そしてあらゆる競争相手を — 置き去りにした。

それまで誰もやったことがなかった。

彼の運命が動きはじめていた。

彼はヨーロッパで最初だった。

ふと思い出した。私もまた28歳のとき、GILLETTE ITALIAで同じような企画を練り上げたのだった。女性だけのマーチャンダイジング・チームとともに撮った、カラブリアじゅうの350のスーパーマーケットのゴンドラの写真を、イタリアの取締役会に提示したのだ。

写真には、従来の陳列レイアウトと並んで、各店のオーナーと直接交渉して勝ち取った二つ目の商品配置が写っていた。

私はオーナーたちに、あなたのスーパーマーケットは世界じゅうで見られることになる、ミラノから始まってボストンまで、と言ったものだ。

カラブリアの男は誰ひとり、女性にノーと言えたためしがなかった。

そして61歳の今でも、それを認めるほかない。

あの写真が本当に世界じゅうで見られるのかどうか、確信があったわけではない。

だが、私は自分の仕事をした。

誰にも決して買えないものを売ったのだ。

希望を。

だが約束は決して売らない。

ヴィンチェンツォおじいさんは、どこにしようと私と孫を見守っているにちががなく、きっとこう言っただろうと私は確信していた。

「よし、おまえたち。仕事は済んだな」

ほんのかすかな笑み。

それから。

「さあ、本題に入るぞ。ノワールは週末にとっておけ ― だが、いつも家族のあとでな」

フェルディナンド